

# 「大阪市版ネウボラ」の実施に 向けた検討について

区長会議 こども・教育部会

「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング



# 1. はじめに

## ① ネウボラとは\*

- ・フィンランドでは、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない手厚い支援がなされている。この支援の中核をなしているのが、「ネウボラ」である。
- ・「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味で、切れ目のない支援をワンストップで行う制度とそのための地域拠点そのものも指している。
- ・フィンランドでは、妊娠がわかれば病院ではなく「ネウボラ」に行き、同じ担当ネウボラ保健師が継続してサポートし、母子の支援に留まらず、家族全体の支援が行われている。
- ・このフィンランドでの「ネウボラ」の歴史は1920年代の内戦での劣悪な環境から子どもたちを守るため、民間の医師や保健師らの取り組みから始まり、1922年の8か所から1944年には300か所に増え、同年から地方自治体にネウボラの設置が義務付けられた。このことより、国内どこでもサービスが受けられ当初から利用は無料であった。
- ・現在では、フィンランドは妊産婦や乳幼児死亡率が最も低い国で、ネウボラサービスがその要因のひとつであり、こどもとその家族全体を捉えた育児支援は、乳幼児の虐待予防においても重要な役割を果たしていると考えられる。

表 フィンランドの妊産婦・子どもネウボラの特徴\*

目的	妊娠期から就学前までの子どもの健やかな成長・発達の支援とともに、母親、父親、きょうだい、家族全体の心身の健康サポートも行う
内容	・健診：産前産後に11回、こどもが1歳になるまで9回、1歳以降に毎年1回 ・相談：健診時の親子の医療的なチェックとともに、個別に出産や育児、家族（夫婦関係、親子関係、生活習慣など）に関する相談に応じる ・保健機関の窓口として、出産入院のための病院指定、医療機関や専門家の紹介を行う
特徴	同じ担当保健師が継続的にサポート

\* 「フィンランドのネウボラから学ぶ母子保健のメソッド」より引用改変

## 2. 「大阪市版ネウボラ」検討ワーキングの設置

### ① 経過

- ・市長指示により、部会において平成 29 年度より「大阪市版ネウボラ」の検討を開始。
- ・平成 30 年 2 月 西淀川区において、保健師の顔の見える化に向けて、集合写真を活用した取組を試験的に実施。
- ・平成 30 年 5 月 24 日 市長定例会見において、西淀川区の取組を全市に拡げるため、「大阪市版ネウボラ」検討ワーキングの設置について公表。

### ② 設置目的

- ・「保健師との顔の見える関係づくり」については、西淀川区でのモデル実施に係る検証を行い、平成 31 年度当初からの全区展開に向けて、具体的な手法を提案する。
- ・並行して、「妊娠期からの切れ目ない支援」に係る取組状況を調査・検証し、「大阪市版ネウボラ」のあるべき姿についても検討を行う。

### ③ ワーキングメンバー

#### ・ワーキング会議

区長会議こども・教育部会長（旭区長）	花田 公絵（リーダー）
西淀川区保健福祉センター所長	山本 智紀（サブリーダー）
港区保健福祉センター所長	幡多 伸子
住吉区保健福祉センター所長	山本 歩
健康局保健指導担当部長	藪本 初音
こども青少年局子育て支援部長	高井 俊一

#### ・実務者会議

都島区役所健康推進担当課長（保健業務主管課長会代表）	坂下 克
生野区役所保健福祉課担当係長（地域保健活動担当係長会 東ブロック代表）	七堂 美香
大正区役所保健福祉課担当係長（地域保健活動担当係長会 西ブロック代表）	吉田 あゆみ
住吉区役所保健主幹兼保健福祉課担当係長（地域保健活動担当係長会 南ブロック代表）	清水 美子
淀川区役所保健副主幹兼保健福祉課担当係長（地域保健活動担当係長会 北ブロック代表）	宮川 淳子
西区役所保健福祉課担当係長（地域保健活動担当係長会 中央ブロック代表）	永石 真知子
健康局健康推進部健康施策課長	寺澤 昭二
健康局健康推進部健康施策課担当係長	足立 礼子
こども青少年局管理課長	吉田 政幸
こども青少年局管理課保健副主幹	仲間 いずみ

#### ・アドバイザー

大阪市立大学大学院看護学研究科教授 横山 美江

### ④ 「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング開催実績

平成 30 年 6 月下旬	妊娠期からの切れ目ない支援取組状況各区調査
平成 30 年 6 月 29 日	第 1 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング・実務者合同会議
平成 30 年 7 月 18 日	第 2 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議
平成 30 年 7 月 24 日	第 2 回「大阪市版ネウボラ」検討実務者会議
平成 30 年 8 月 16 日	第 3 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議
平成 30 年 8 月 28 日	第 3 回「大阪市版ネウボラ」検討実務者会議
平成 30 年 8 月～9 月	母親教室視察（医療機関 3 箇所）
平成 30 年 10 月 16 日	第 4 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議
平成 30 年 10 月 27 日	ネウボラ研修
平成 30 年 10 月 31 日	第 4 回「大阪市版ネウボラ」検討実務者会議
平成 30 年 11 月 15 日	第 5 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議
平成 30 年 11 月 29 日	第 5 回「大阪市版ネウボラ」検討実務者会議
平成 30 年 11 月 30 日	第 6 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議
平成 30 年 12 月 14 日	第 7 回「大阪市版ネウボラ」検討ワーキング会議

⑤ 「大阪市版ネウボラ」検討ワーキングの検討経過について

	ワーキング	実務者会議	その他
6月	<p><b>6月13日 準備会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングの進め方について確認</li> <li>・各区の独自取組の現状を把握していく</li> </ul> <p><b>6月29日 1回目開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各区の独自取組の状況概要確認</li> <li>・フィンランドのネウボラについて【横山アドバイザー講師での講習】</li> </ul>	<p><b>6月8日</b></p> <p>保健業務担当課長会に協力依頼</p> <p><b>6月20日</b></p> <p>地域保健活動係長会に協力依頼</p> <p><b>6月29日 1回目開催</b></p> <p>ワーキングと合同開催</p>	
7月	<p><b>7月18日 2回目開催</b></p> <p>各区の取組から見えてきたことを議論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに各区の実情に合わせた「保健師との顔の見える関係づくり」を実施している</li> <li>・家族支援の取組が求められている</li> <li>・妊婦教室など民間での取組と重なるものがある</li> </ul>	<p><b>7月24日 2回目開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当保健師制の強化として、妊婦面接の予約制など具体的な内容を議論する</li> </ul> <p>見えてきたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師業務の標準化や見直しの必要性</li> <li>・子育て支援室との連携の必要性</li> </ul>	
8月	<p><b>8月16日 3回目開催</b></p> <p>大阪市版ネウボラの取組方針案の議論</p> <p>他自治体の取組事例について共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネウボラ</li> <li>・父子手帳</li> </ul>	<p><b>8月28日 3回目開催</b></p> <p>大阪市版ネウボラの取組方針案の議論</p>	医療機関における母親教室の視察
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こども・教育部会に中間報告（9月12日）</li> <li>● 市長・副市長に中間報告（9月18日）</li> <li>● 区長会に中間報告（10月26日）</li> </ul> <p><b>中間報告</b></p> <p><b>取組方針を「市で統一：局」「市で統一：区で手法選択」「区毎に実施選択」するものに区別して、進め方を議論していくこととなる</b></p>		
10月	<p><b>10月16日 4回目開催</b></p> <p>大阪市版ネウボラの今後の進め方について議論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当保健師制の強化</li> <li>・家族への支援</li> </ul>	<p><b>10月31日 4回目開催</b></p> <p>「区で手法選択」する取組についての具体例を検討</p>	10月27日研修開催 講師 トウオビィ・ハクリネン氏 横山アドバイザー
11月	<p><b>11月15日 5回目開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「区で手法選択」する取組について議論</li> <li>・「パパと子手帳」の活用について議論</li> <li>・区でのモデル取組状況（西淀川・港区）</li> </ul> <p><b>11月30日 6回目開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「区で手法を選択」する取組</li> <li>・妊婦面接の標準化</li> <li>・ワーキングの最終報告（案）検討</li> </ul>	<p><b>11月29日 5回目開催</b></p> <p>妊婦面接の標準化・予約制 その他、妊婦教室などについて議論</p>	11月20日 地域保健活動担当係長会で議論 その他の検討事項について
12月	<p><b>12月14日 7回目開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングの最終報告（案）検討</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>		